

令和5年度大学等の質保証人材育成セミナー

「高等教育と生涯学習を横断する質保証」

大学を生涯学習の拠点とするには：地域連携と教育機関連携の実践例から

# 「大学のまち京都」における 生涯学習・リカレント教育 ～大学コンソーシアム京都の取り組み～

公益財団法人 大学コンソーシアム京都  
副事務局長（教育事業部担当） 齊藤 明

- 1 大学コンソーシアム京都について**
- 2 生涯学習事業（京カレッジ）の概要**
- 3 大学リカレント教育の推進**
- 4 今後の取り組みと方向性**

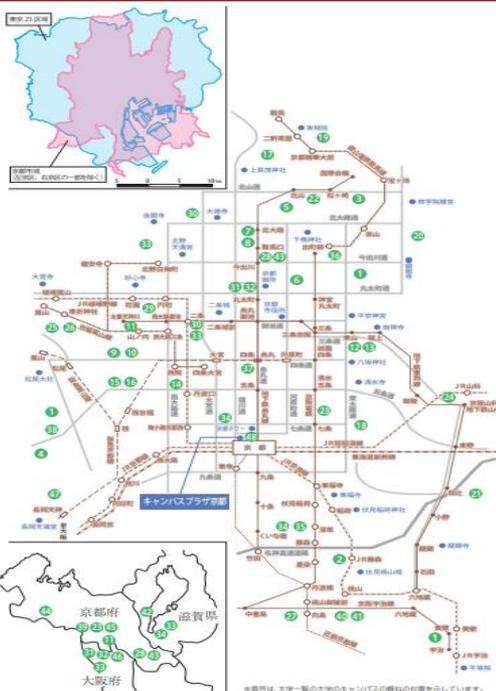
はじめに

# 「大学のまち」 京都

限られたエリアに46もの個性と特色あふれる大学・短期大学が立地する「大学のまち」

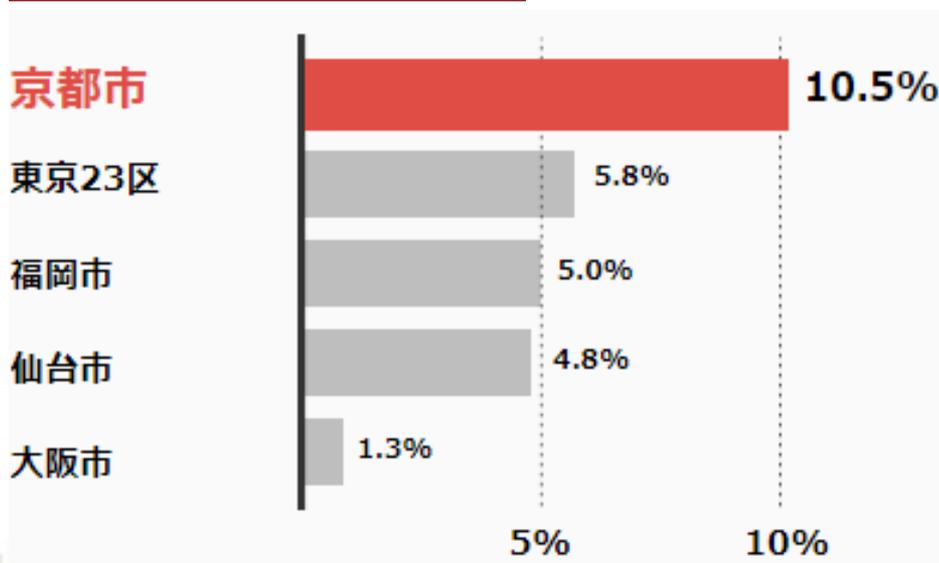
京都市の人口のうち約1割（15万人）が大学生である「学生のまち」

コンソ加盟大学 所在地マップ



出典元：大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 2019-2023

大学生人口 比率



出典元：STUDY KYOTO ホームページ

<https://www.studykyoto.jp/ja/whykyoto/#:~:text=%E4%BA%AC%E9%83%BD%E5%B8%82%E5%9F%9F%E3%81%AE%E4%BA%BA%E5%8F%A3%E3%81%AE,%E3%81%AB%E3%81%A8%E3%81%A6%E3%82%82%E5%84%AA%E3%81%97%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%A1%E3%81%A7%E3%81%99%E3%80%82> (参照 2023-8-8)

# 1 大学コンソーシアム京都について（設立の背景）

18歳人口の減少を背景に危機感を持つ大学は、様々な施策を展開するとともに、多様な大学との連携によって新たな価値（知）の創造を構想。一方、京都市は、京都市外への大学転出の動きの中で、大学振興を市政の重要な柱と位置付け、京都の優れた都市特性である大学の集積を活かし、大学と地域の総合的な発展を図ることを構想し、1993年に京都の新しい都市づくり構想「大学のまち・京都21プラン」を策定。大学と自治体とのベクトルが一致し、1994年に全国初となる大学間連携組織である「京都・大学センター」（大学コンソーシアム京都の前身）が設立された。

## 1980～1990年代 大学の市外への流出

- 1985年：大学振興の推進に向け、大学問題対策委員会を設置、「国家予算に関する要望」に「工場・大学等制限法の見直し」を加える
- 1986年：京都市と大学が相互理解を深め、意見交換を行う場として、「京都市・大学事務連絡協議会」を設置
- 1990年：市役所内に総合的な大学政策に取り組む部門組織「企画調整局活性化推進室都市政策課」を設置

## 1993年3月 「大学のまち京都・21プラン」策定

- 京都市「大学のまち京都・21プラン」策定
- ① 大学経営基盤及び大学間連携の強化
- ② 教育研究活動の充実
- ③ 学生生活環境の充実
- ④ 地域研究の推進
- ⑤ 地域における生涯学習・リカレント教育の推進
- ⑥ 地域との連携の強化
- ⑦ 地元企業との連携強化
- ⑧ 国際化への対応

## 1994年3月 「京都・大学センター」発足

- 京滋地区私立大学学長懇談会での談話を発端として集まった大学の学長有志により計画
- ① 現代社会と新しい学問的パラダイム構築
- ② 新しい連合体京都における新しい人づくり・まちづくりへの貢献
- ③ 大学間交流・新たな教育システム・学問・芸術の創造
- ④ 大学の社会開放と生涯学習システムの開発

合致

## 京都から大学が流出

- 1986年 同志社大学・同志社女子大学キャンパス一部移転（京田辺市）
- 1987年 平安女学院短期大学移転（高槻市）
- 1990年 龍谷大学瀬田キャンパス開設（大津市）  
龍谷大学理工学部・社会学部開設（瀬田キャンパス）
- 1994年 立命館大学びわこ・くさつキャンパス(BKC)開設  
立命館大学理工学部移転（BKC）
- 1997年 立命館大学経済学部、経営学部移転（BKC）

## 京都地域へ大学が回帰

- 2005年 立命館大学朱雀キャンパス開設（二条駅前）  
立命館大学本部・法科大学院を移転（朱雀キャンパス）
- 2006年 平安女学院大学国際観光学部設置（京都キャンパス）
- 2008年 同志社大学神学部・社会学部再移転（今出川キャンパス）  
同志社女子大学2学科再移転（今出川キャンパス）
- 2009年 佛教大学仏教学部等設置（紫野キャンパス）
- 2010年 佛教大学二条キャンパス開設（二条駅前）
- 2013年 同志社大学文系全学部再移転（今出川キャンパス）
- 2015年 龍谷大学国際文化学部移転（深草キャンパス）  
京都先端科学大学京都太秦キャンパス開設（太秦天神川駅前）
- 2017年 京都美術工芸大学東山キャンパス開設（七条駅前）

# 1 大学コンソーシアム京都について（組織概要）

## 目的

- ・ 京都地域を中心に、大学間連携と相互協力を図り、加盟する大学・短期大学の教育・学術研究水準の向上を目指すとともに、学生の成長を促進するための学生支援、大学の国際化を推進するための国際連携・国際交流等の充実に努める。
- ・ 地域社会、行政及び産業界との連携を促進し、地域の発展と活性化に努め、京都地域を中心とした高等教育の発展と国際社会をリードする人材の育成を目指す。

### 組織名

公益財団法人 大学コンソーシアム京都

### 理事長

黒坂 光（京都産業大学 学長）

### 設立

1994年3月（設立認可：1998年3月19日）

### 予算規模

年間約4億円（指定管理約45%、会費約45%、事業収入約10%）

### 所在地

京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939  
キャンパスプラザ京都内

### 職員数

47名（うち大学および行政からの出向者19名）

## 事業部体制

- 教育事業部 単位互換、生涯学習（京カレッジ）、e-ラーニング、インターンシップ
- 教育開発事業部 FD・SD・高大連携
- 学生支援事業部 京都学生祭典、京都国際学生映画祭障がい学生支援
- 国際事業部 留学生誘致・支援事業（留学生スタディ京都ネットワーク）、学生の海外留学・交流促進、教職員のグローバル化支援
- 調査・広報事業部 京都学生広報部、京都B&Sプログラム、学まちコラボ事業、「学まち連携大学」促進事業、京都から発信する政策研究交流大会、指定調査課題、共通指標
- 総務部 法人運営、経理、施設管理、全国大学コンソーシアム協議会、勤労学生援助会

## キャンパスプラザ京都（京都市大学のまち交流センター）

大学における学術研究の成果その他の知的資産を活用することにより、豊かな地域社会の形成に資するため、大学相互及び大学と産業界・地域社会などの連携並びに交流を促進する活動その他の活動の用に供するために京都市が設置した施設。大学コンソーシアム京都の活動拠点になっている。

敷地面積： 2,632,71㎡  
延床面積： 11,677,47㎡  
設計： 鉄筋コンクリート造、地下1階地上6階  
開館日： 2000年9月8日  
総事業費： 約100億円  
来館者数： 年間約40万人、1日約1,300人

# 1 大学コンソーシアム京都について

## ◇ 加盟大学・短期大学、加盟団体など

### ● 国立大学

京都大学  
京都教育大学  
京都工芸繊維大学

### ● 公立大学

京都市立芸術大学  
京都府立大学  
京都府立医科大学  
福知山公立大学

### ● 私立大学

池坊短期大学  
大谷大学  
京都医療科学大学  
京都外国語大学  
京都外国語短期大学  
京都華頂大学  
華頂短期大学  
京都看護大学  
京都経済短期大学  
京都芸術大学  
京都光華女子大学  
京都光華女子大学短期大学部  
京都産業大学  
京都女子大学

京都精華大学  
京都西山短期大学  
京都先端科学大学  
京都橘大学  
京都ノートルダム女子大学  
京都美術工芸大学  
京都文教大学  
京都文教短期大学  
京都薬科大学  
嵯峨美術大学  
嵯峨美術短期大学  
種智院大学  
成安造形大学  
同志社大学  
同志社女子大学  
花園大学  
佛教大学  
平安女学院大学  
明治国際医療大学  
立命館大学  
龍谷大学  
龍谷大学短期大学部  
大阪医科薬科大学  
京都情報大学院大学  
放送大学・京都学習センター

### ● 地方公共団体

京都府  
京都市

### ● 経済団体

一般社団法人 京都経営者協会  
一般社団法人 京都経済同友会  
公益社団法人 京都工業会  
京都商工会議所

### ● 賛助会員

株式会社あおぞら印刷  
株式会社エデュース  
株式会社学生情報センター  
近畿音響工業株式会社  
株式会社ジェイ・エス・ビー  
三井住友海上火災保険株式会社京都支店  
株式会社フラットエージェンシー  
株式会社リアセック  
株式会社ワタナベ美装

# 1 大学コンソーシアム京都について

## ◇ 法人組織体制 (2023年7月現在)

### ● 顧問

顧問 門川 大作 京都市長

### ● 理事

理事長 黒坂 光 京都産業大学 学長  
副理事長 植木 朝子 同志社大学 学長  
副理事長 一楽 真 大谷大学 学長  
理事 赤松 玉女 京都市立芸術大学 学長  
理事 桶谷 守 池坊短期大学 学長  
理事 小野 隆啓 京都外国語大学・京都外国語短期大学 学長  
理事 澤田 昌人 京都精華大学 学長  
理事 入澤 崇 龍谷大学・龍谷大学短期大学部 学長  
理事 結城 実照 京都市 総合企画局長  
専務理事 伊勢戸 康 大学コンソーシアム京都 事務局長

### ● 監事

監事 松岡 正和 京都ノートルダム女子大学 事務局長  
監事 栗田 康文 学校法人平安女学院 法人事務局長

### ● 評議員

評議員 仲谷 善雄 立命館大学 学長  
評議員 岡田 憲和 京都市 副市長  
評議員 湊 長博 京都大学 総長  
評議員 川添 信介 福知山公立大学 学長  
評議員 玉木 長良 京都医療科学大学 学長  
評議員 高見 茂 京都光華女子大学・京都光華女子大学短期大学部 学長  
評議員 森 正美 京都文教大学 学長  
評議員 佐々木 正子 嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 学長  
評議員 磯田 文雄 花園大学 学長  
評議員 岡本 孝樹 京都府 総合政策環境部長  
評議員 下間 健之 一般社団法人 京都経済同友会 理事事務局長  
評議員 荻野 達也 京都商工会議所 理事・事務局長

### ● 運営委員

運営委員長 中谷内 一也 同志社大学 副学長  
副運営委員長 在間 敬子 京都産業大学 副学長  
副運営委員長 松原 洋子 立命館大学 副学長  
運営委員 大秦 一浩 大谷大学 副学長  
運営委員 深尾 昌峰 龍谷大学・龍谷大学短期大学部 副学長  
運営委員 横山 陽一 京都大学 渉外部長  
運営委員 藤野 靖子 京都市立芸術大学 副学長  
運営委員 長島 啓子 京都府立大学 教務部長  
運営委員 藤本 茂 京都外国語大学・京都外国語短期大学 副学長  
運営委員 金澤 哲 京都女子大学 副学長  
運営委員 三河 かおり 京都精華大学 副学長  
運営委員 上野 泰弘 京都文教大学・京都文教短期大学 事務局長  
運営委員 松本 真治 佛教大学 副学長  
運営委員 小笠原 晋 京都市 総合企画局総合政策室大学政策部長  
運営委員 石倉 忠夫 大学コンソーシアム京都 教育事業部長  
運営委員 野村 明宏 大学コンソーシアム京都 教育開発事業部長  
運営委員 山口 洋典 大学コンソーシアム京都 学生支援事業  
運営委員 今西 利之 大学コンソーシアム京都 国際事業部長  
運営委員 木村 睦 大学コンソーシアム京都 調査・広報事業部長  
運営委員 伊勢戸 康 大学コンソーシアム京都 専務理事・事務局長

# 1 大学コンソーシアム京都 第5ステージについて

## ◇ 第5ステージ（2019～2023年度）のビジョン

**「だれもが学び、つながる<sup>まち</sup>京都へ」**

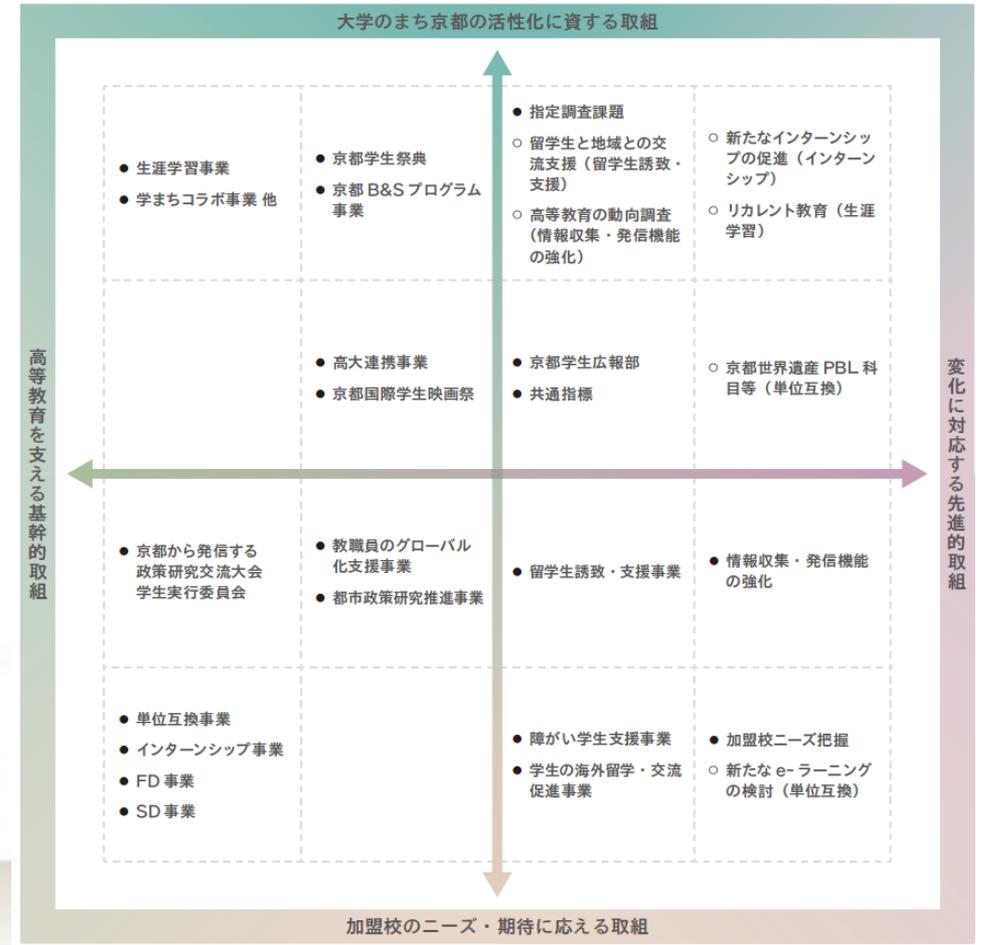
**～地域とともに個性と特色を活かした多様な学びの展開～**

## ◇ 事業推進方針

- ・ 加盟校ニーズ・期待に応える事業運営
- ・ 大学と地域との連携推進
- ・ 交流・プラットフォーム機能の強化
- ・ 「大学のまち京都」のブランド力向上
- ・ 高等教育を取り巻く環境の変化に対応する、先進的で独自性のある事業展開

## ◇ 事業の6本柱

- 柱1 大学間連携による学びの提供と充実
- 柱2 大学教職員の能力開発と交流機会の充実
- 柱3 大学の枠を超えた学生間の交流・活動支援
- 柱4 オール京都での国際交流推進
- 柱5 大学・学生・地域社会との連携による京都地域の発展と活性化
- 柱6 高等教育の環境変化に対応する組織運営



▲事業展開のイメージ

# 1 大学コンソーシアム京都 第5ステージについて

## 柱1 大学間連携による学びの提供と充実

単位互換における京都ならではの学びのフィールドの拡充や受入れ先の業務改善・活性化に資する新たなインターンシップの展開、高大接続改革の具体化に向けた加盟校の支援、リカレント教育の実施に向けた検討など、高等教育の環境変化を見据え、京都を拠点とした学びの環境充実に向けて取り組みます。

- **単位互換事業**（「京都世界遺産PBL科目」の充実と京都ならではの新たなフィールドの拡充など）
- **インターンシップ事業**（学生の成長と企業・団体の活性化に資するインターンシッププログラムなど）
- **高大連携事業**（高大連携教育フォーラム・高大社連携キャリア教育企画・教職員交流企画の充実）
- **生涯学習事業**（リカレント教育の実践促進、京カレッジ・京都学講座の充実など）

## 柱2 大学教職員の能力開発と交流機会の充実

第4ステージの取組を引き継ぎながら、参加者ニーズに即したプログラムの検討と、交流機会の充実による情報共有の仕組みづくりを意識した事業の充実を図ります。

- **FD事業**（階層別FD研修の展開、SD義務化を踏まえた企画の充実など）
- **SD事業**（SDゼミナールの充実、階層別プログラムの検討など）
- **障がい学生支援事業**（高校教員を対象とした障がいのある学生の受入れに関する懇談会の開催など）

## 柱3 大学の枠を超えた学生間の交流・活動支援

インターカレッジの取組へ学生の参加を促し、学びと成長をより意識した取組と支援の充実によって活動の裾野を広げます。大学の枠を超えた学生間の交流・活動の活性化を図ります。

- **京都学生祭典**（新たな企画へのチャレンジ、実行委員と社会人との接点拡大の推進など）
- **京都国際学生映画祭**（事業収入の安定的な確保、映画祭情報の効果的発信など）
- **京都学生広報部**（京都発のウェブメディアとして成長・発展、中高生や企業との協働イベントの開催など）
- **京都から発信する政策研究交流大会 学生実行委員会**（参加学生等の交流を促す企画の推進など）

# 1 大学コンソーシアム京都 第5ステージについて

## 柱4 オール京都での国際交流推進

第4ステージに引き続き「オール京都」体制で、加盟校のニーズに即した国際交流支援を推進していきます。

- 留学生誘致・支援事業（留学生就職支援・交流コミュニティ「KyoTomorrow Academy」の充実など）
- 学生の海外留学・交流促進事業（海外派遣プログラムの充実、留学生や海外からの訪問学生との交流プログラムの実施など）
- 教職員のグローバル化支援事業（英語スキルアップ研修の充実、加盟校の国際化に向けた取組事例の共有など）

## 柱5 大学・学生・地域社会との連携による京都地域の発展と活性化

学まちコラボ事業や都市政策研究推進事業における政策提言の活用など、大学が集積する京都市内での調査・研究や地域連携のノウハウを京都地域全体に発信するなど、大学・学生と地域の連携をより一層推進していきます。また、京都地域のブランド力向上に向けた取組として、「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力を全国に広げていくための情報発信も行います。

- 地域連携事業（大学・学生による地域連携活動への支援・充実、大学・地域連携ウェブサイトの開設など）
- 都市政策研究推進事業（「京都から発信する政策研究交流大会」における政策提言の活用など）
- 京都学生広報部【プロモーション活動】（京都学生広報部による「大学のまち京都」のプロモーション活動推進など）
- 京都B&Sプログラム事業【プロモーション活動】（修学旅行生を対象とした京都B&Sプログラム事業の推進など）

## 柱6 高等教育の環境変化に対応する組織運営

環境の変化へ組織的に対応し、財団として取り組む課題の選択と集中を図りながら、全国の大学コンソーシアム組織をリードする、先進的で独自性のある取組を追求できる体制の構築を進めます。

- 加盟校ニーズ把握（アンケート・ヒアリングなど加盟校の期待に応える事業運営に向けた情報収集・発信など）
- 情報収集・発信機能の強化（高等教育の動向調査、ウェブサイトやキャンパスプラザ京都等を活用した大学情報の発信など）
- 共通指標（アンケート収集による事業の評価・検証と事業改善・新規開発への活用）
- 指定調査課題（専門分野の研究者への調査・研究委託により、財団事業の見直し・高度化の促進）

# 2 生涯学習事業（京カレッジ）について

- 高度化・多様化する社会人の学修ニーズに応える生涯学習事業
- 1997年に京都市との協働事業として「シティーカレッジ」開始
- 2007年から「京（みやこ）カレッジ」として開講
- 2022年は、以下の分野で179科目を開講
- うち83科目に延べ1,278名が出願

みやこ  
**京カレッジ生**  
募集ガイド

2023年度

- 大学講座
- 市民教養講座 京都市力養成コース
- 市民教養講座 教養力養成コース
- 京カレッジ 大学ルーラー講座
- リカレント教育プログラム

MIYAKO College Guide Book 2023

インターネットから出願可能!



京カレッジ 「大学のまち京都」が  
学びのキャンパス

主催 京都市 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 京都大学コンソーシアム京都  
The Consortium of Universities in Kyoto

大学講座	A	京（みやこ）を学ぶ	京の歴史、伝統文化、産業、地域、観光など京都を多様な角度から学ぶ科目群
	B	歴史を学ぶ	日本史、世界史、考古学、地史学、民俗学、郷土史、古文書など歴史観を養う科目群
	C	文化・芸術を学ぶ	文学、古典、音楽、美術、デザイン、絵画、工芸、芸能など文化・芸術に親しむ科目群
	D	ことば・言語を学ぶ	語学、言語学、外国語、表現、演劇、コミュニケーション法など表現力や語学力を身に付ける科目群
	E	教育・人生観を学ぶ	心理、教育、宗教学、哲学、倫理、思想など人の生き方、育て方を考える科目群
	F	生活・健康・スポーツを学ぶ	暮らし、福祉、看護、健康、スポーツ、生命医学などライフスタイルにかかわる知識を得る科目群
	G	自然・環境を学ぶ	環境学、地理学、農学、天文学、物理学、生物学、生態学など自然界に触れる科目群
	H	現代社会を学ぶ	法学、経済学、経営学、政治学、社会学、科学技術、情報学など多様な観点から現代社会を観察する科目群
	I	国際関係を学ぶ	法、政治、教育、福祉、比較文化、海外セミナーなどを通じて世界情勢を知り、グローバルな視点を養う科目群
市民教養講座	J	市民教養講座	大学が開講する公開講座やシンポジウムを通して、幅広い分野における教養を高めるプログラム
	K	京都市力養成コース	歴史・文化・芸術等の宝庫である京都をフィールドに、蓄積された研究から京都をより深く学べる特色あるプログラム
	L	教養力養成コース	フィールドワークなどを通じて文化力・地域力（地域人材の育成）の向上を目的としたプログラム
リカレント教育プログラム	R	リカレント教育プログラム	働く世代に向けて企画した、スキルを高め視野を広げるための講座

## 2 生涯学習事業（京カレッジ）について

### <出願等状況①>

- 提供科目の89.9%（161科目）が大学講義。出願があったのは76科目
- 市民教養講座における京都力養成コースは、出願者全体の62.4%を占めている
- 2022年度から実施しているリカレント教育プログラムには2科目81名の出願があった

分野	提供科目・講座数		出願有科目		出願者数	
大学講義(A~I)	161	89.9%	76	83.5%	214	16.7%
市民教養講座(J)	8	4.5%	5	5.5%	106	8.3%
市民養講座 京都力養成コース(K)	6	3.4%	6	6.6%	798	62.4%
市民教養講座 教養力養成コース(L)	2	1.1%	2	2.2%	79	6.2%
リカレント教育プログラム	2	1.1%	2	2.2%	81	6.3%
合計	179	100%	91	100%	1,278	100%

## 2 生涯学習事業（京カレッジ）について

### <出願等状況②>

#### 【大学講義】

- 大学の授業を大学生とともに受講
- 受講形態は『科目等履修生』または『聴講生』

大学講義テーマ	提供科目数		出願者数	
A.京(みやこ)を学ぶ	8	5.0%	11	5.1%
B.歴史を学ぶ	30	18.6%	34	15.9%
C.文化・芸術を学ぶ	18	11.2%	39	18.2%
D.ことば・言語を学ぶ	4	2.5%	1	0.5%
E.教育・人生観を学ぶ	27	16.8%	22	10.3%
F.生活・健康・スポーツを学ぶ	10	6.2%	9	4.2%
G.自然・環境を学ぶ	22	13.7%	64	29.9%
H.現代社会を学ぶ	31	19.2%	26	12.2%
I.国際関係を学ぶ	11	6.8%	8	3.7%
合計	161	100%	214	100%

## 2 生涯学習事業（京カレッジ）について

### <出願等状況②>

#### 【市民教養講座】

##### ●京都力養成コース

フィールドワークを取り入れながら京都を深く学べる講座

##### ●教養力養成コース

各大学が有する特色ある講座（所蔵物の見学等フィールドワークを含む）または、ボランティア等、地域人材育成にかかわる講座

⇒上記コースの講座には、開設補助金を支給

#### 京都力養成コース科目一覧(2022年度)

科目名	提供大学・機関	定員	出願者数
京都学講座【午前コース】 『復活の京都』	大学コンソーシアム京都	130	308
京都学講座【午後コース】 『復活の京都』	大学コンソーシアム京都	130	228
高橋新吉『神社参拝』を巡る旅と創作1 —京都におけるタダリストの足跡を追う—	平安女学院大学	10	20
京都の暮らしの歴史と伝承文化—歴史 民俗学の視座より～知られざる京都の 歴史的風土について考える～	放送大学京都学習 センター	25	88
京都の歴史のなかの観光・名所・文化 —多様な資料と手法によるアプローチ—	京都産業大学	30	85
祇園祭と京都—祇園祭を多角的に検討 する—	龍谷大学龍谷エク ステンションセンター	20	69
合計		345	798

#### 教養力養成コース科目一覧(2022年度)

科目名	提供大学・機関	定員	出願者数
地域と歩む大学博物館： 大学博物館のコレクション・展覧会と地域性	京都・大学ミュージア ム連携	20	63
選挙参加意識の市民力	京都府立大学	20	16
合計		40	79

「復活の京都」開講記念講座  
京都のリバイバル

一口に、千年の都と言ふ。しかし、この街には存続をあやぶまれた時期もあった。応仁の乱や戦国乱世がそうである。明治維新のあとも、つらかった。そういふ危機をのりこえ、京都は今にいたっている。当日は、各時代のリバイバルを、よりかえてみたい。

日時 **2022年3月5日(土)**  
13:30~15:00(受付開始13:00)

参加費 **無料**

【講師】

**井上 章一氏** (国際日本文化研究センター 所長)  
京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。1986年「つづられた柱障子物語」でサントリー学芸賞を受賞。著書に「関西人の正体」「南蛮幻想—ユリシズ伝説と安土城」「日本に古代はあったのか」「伊勢神宮—魅惑の日本建築」「京都ざらい」など。

コーディネーター  
**川島 智生氏** (京都市立芸術大学 現代家政学研究所 教授)  
京都工芸繊維大学大学院建築学専攻修士後期課程修了。専門は日本の近代建築史。著書に「近代京都における小学校建築」「民衆運動と建築」「近代日本のビール醸造史と産業遺産」近著に「NISSHA 本社工場の溯源-明治開港五道の工場建築史」「宝塚 温泉リゾート都市の建築史」など。

■会場 **キャンパスプラザ京都 (4階 第2講義室)**  
■定員 **130名(事前応募)** ※応募多数の場合は抽選  
■応募方法 **WEBにてご応募ください。**

スマートフォンのカメラ等で **こちら** を読み取りください  
もしくは下記URLから必要事項を入力の上、ご応募ください。  
<http://bit.do/kyotogaku0305>

※WEBにてご応募が難しい場合は、往復はがきにて下欄のとおり明記の上、ご応募ください。

往復 (表面)	返信 (裏面)	返信 (表面)	往復 (裏面)
 ①「3/5 京都学講座 受講者名」 ②「受講者連絡の 郵便番号・住所・氏名」 ※応募の結果を記入します。何も記入しなくても可です。	①「3/5 京都学講座 受講者名」 ②「受講者連絡の 郵便番号・住所・氏名」	①「3/5 京都学講座 受講者名」 ②「受講者連絡の 郵便番号・住所・氏名」	①「3/5 京都学講座 受講者名」 ②「受講者連絡の 郵便番号・住所・氏名」

【応募締切】  
WEB応募：2022年2月18日(金) 23:59  
往復はがき：2022年2月18日(金) 必着  
▶締切を過ぎてのご応募は無効となります。  
▶応募の結果は2022年2月25日(金)に当選者のみメール(WEB応募の方)もしくは郵送(往復はがき応募の方)にて通知いたします。

2022年度 京カレッジ 京都力養成コース 京都学講座 『復活の京都』

第1回 4/23(土)

賀茂競馬930年 -伝統と継承-  
堀川 潤氏 (一般財団法人 賀茂氏共同会 理事長 賀茂競馬保存会 副会長)

賀茂競馬は5月5日に世界遺産上賀茂神社で行われる伝統の神事。平安時代の寛治9年(1093年)以来930年の長い歴史があります。古式競馬の内容だけでなく、長い歴史でのエピソードや伝統を守りつつ、次世代にどのように継承していくのかについても触れていきます。



第2回 5/28(土)

災害からの「復活」と神仏への祈り -御霊信仰・天神信仰の成立・展開と災害-  
竹居 明男氏 (同志社大学名誉教授)

前近代においては、我われ現代人とは異なり、予期しえない災害・災難に対する予防と対策は、ほとんど神仏への祈願にたよるばかりありませんでした。平安時代に、そうした対策の一つとして登場したのが御霊信仰とその延長上にある北野天満宮の創建です。平安時代前期から末期までを対象に、平安京内外の災害の実態と、御霊信仰、および北野天満宮を拠点とする天神信仰の成立・展開との関係を探ってみたいと思います。



第3回 6/4(土)

奥深い芸の世界へ—恵美華さんに聞く  
恵美華氏 (祇園甲部芸妓(地方))

祇園甲部の恵美華さん。立って舞う芸妓舞妓を「立方(たちかた)」というのに対し、座って三味線を演奏する芸妓を「地方(じかた)」といいます。立方の希望者は多いのですが、地方は高齢化が進んでいます。在学中から修行をはじめ、大学コンソーシアム京都の加盟校を、昨年卒業したばかり。学芸芸妓として活躍する最年少の地方、恵美華さんにお話をうかがいます。



第4回 6/11(土)

祇園祭 鷹山の復活 -196年の眠りからの覚醒-  
山田 純司氏 (公益財団法人 鷹山保存会 理事長)

鷹山は暴風雨で懸装品が破損した1826年を最後に祇園祭・山鉦巡行から離れ、1864年の蛤御門の変に伴う大火で御神体の一部を残して曳山本体も焼失し長らく「休み山」となりました。応仁の乱以降からの歴史を持つ鷹山は2022年に約200年ぶりの復興を目指しています。木何故、眠り続けたのか?木能がより起したのか?木再び眠る事はあるのか?1100年を越す祇園祭の歴史の中で、休み山だとして200年間は京都人にとっては「ほんの少しだけ休んではった」ということでしょうか。



第5回 7/2(土)

明治維新期の西本願寺  
近藤 俊太郎氏 (龍谷大学 非常勤講師)

明治維新と仏教との関係といえば、とにかく廃仏毀釈がよく知られています。廃仏毀釈は、日本が近代国家形成にあたり、神道国教化を目論んだために生じた出来事でした。一方、仏教界がその衝動からどう立ち直り、近代化を進めていったのかについては、あまり知られていません。そこで本講義では、明治維新期の西本願寺を中心に取り上げ、日本の仏教の近代化について考えてみたいと思います。



第6回 7/23(土)

明治の工業都市京都 -首都から工業都市へ-  
川島 智生氏 (京都市立芸術大学 現代家政学研究所 教授)

蛤御門の変による市街地焼失と遷都以来、沈んだ京都の町を再生させるために、官民あげて工業都市化はかられます。現在の風光明媚な観光都市京都からは想像もつかないことですが、琵琶湖疎水はそのためにつづられました。工業都市の遺構は京都織造や繅紡工場の一部が残ります。最も多く残るのがNISSHA本社工場になった京都錦線で、現在も明治29年に完成の工場の遺構を残します。工業都市の息吹をこの煉瓦造工場から読み取り、躍動する明治の京都を検証します。



第7回 7/30(土)

子育てのまち京都の夏 地蔵盆 -その現状と将来-  
神谷 深氏 (スタジオ北山山荘 写真家)

京都の夏の風物詩「地蔵盆」は、街かどの地蔵堂の前又は石地蔵を会場へ移してお供えとお飾りをし、住職の説経、おやつ、福引などのプログラムで子どもたちを楽しませ、大人同士も親睦をはかる伝統行事です。この行事も少子化と住民意識の変化のために、徐々に縮小衰退しつつあります。過去20年間の京都の借家まで住み手によって観望いただき、みなさんとこの伝統行事の意義と将来について語り合いたいと思います。



第8回 9/3(土)

京町家今昔 -その変遷と現在に伝える知恵-  
荒木 正巨氏 (株式会社アラキ工務店 会長)

明治の初めに仮家と呼ばれた京町家は、明治30年ごろから大正初期にかけ最も華やかに再生され、景観の主役となりました。建築時期によって意匠や構造が異なるだけでなく、お店(たな)から庶民の借家まで住み手によっても様々な京町家があります。本講義では、その建物の違いと見方について紐解きたいと思えます。また、現在の木造住宅と比較し、構造・耐震・防火をどのように考えているのかも明らかにしていきます。



第9回 9/10(土)

戦国期京都の都市構造 -応仁・文明の大乱からの復活-  
山田 邦和氏 (同志社女子大学 現代社会学部 教授)

室町時代中期におこった応仁・文明の大乱がそれまでの戦争と異なっていたのは、京都の市街地を舞台として、11年間という長期間の戦いが繰り返されたことでした。これにより、都市としての京都は大きな打撃を受けました。しかしその後、京都は見事な復活を遂げます。戦国時代の京都の都市構造はそれ以前とはどのように異なっていたのか、最新の都市研究の成果をとり入れながら分析してみたいと思います。



第10回 10/8(土)

復活の小劇場 -THEATRE E9 KYOTO 新しい公共としての民間劇場  
あごさとし氏 (THEATRE E9 KYOTO 芸術監督 京都市立芸術大学 芸術資源研究センター 客員研究員)

2015年から2017年にかけて京都市内の5つの小劇場が閉鎖する事態が起きました。それを受けて2019年に東九条地域にTHEATRE E9 KYOTOは開演いたしました。劇場の創造過程、現在、そして未来について触れることで、芸術のみならず暮らし、経済、まちなみ、まちづくりなど様々な分野にも横断する持続可能な公共空間とは何かを考えたいと思います。



実地講座 1 7/9(土)

日本庭園と京都の近代 -南禅寺界隈別荘庭園群と琵琶湖疎水の歴史がはぐくんできた「京都岡崎の文化的景観」  
加藤 友規氏 (精進園造園株式会社 代表取締役社長 京都芸術大学大学院 日本庭園分野 教授)

●時間：10:00~12:00 ●定員：30名 ●参加費：2,000円  
●場所：南禅寺(京都市左京区南禅寺地蔵池) (現地集合・解散)  
幕末から明治維新の社会変化と東京展覧会により、京都は沈滞感に覆われ、その打開策として京都では殖産興業に取り組み、琵琶湖疎水の水準動力による産業興業に再起をかけた。事業の途中で水準動力から水力発電に計画が転じ、工場を予定した地域は別荘や宅地へと転用され、疎水の水は産業のみならず、新たな京都の庭園を創出した。地蔵の歴史がはぐくんできた、現代の私達にもたらされた日本庭園の恵みを共に学びます。



実地講座 2 12/24(土)

美術館に見る京都の復活の歴史と今 -京都市京セラ美術館-  
吉中 充代氏 (京都市美術館学芸員)

●時間：14:00~16:00 ●定員：30名 ●参加費：2,000円  
●場所：京都市京セラ美術館(京都市左京区岡崎岡町124) (現地集合・解散)

明治期以来美術の都をめざした京都では、本格的な美術館の設立が望まれました。京都市京セラ美術館は、開館にこたえた大正記念京都市美術館(1933年設立)からの歴史ある美術館です。開館時より同時代美術を含め公立美術館コレクションの先鞭をつけ、戦後の復旧から京都市美術館に改名しての復活、そしてこのたびのリニューアルと、何度も大きな変革を経験してきました。美術館の復活と大いに関わってきた日展はじまりの建物と展示をご覧頂くと、美術館を通して京都の復活の歴史を紹介いたします。

※実地講座の参加申込には「募集ガイド」にあるシラバスの注意事項をご覧ください。



## 3 大学リカレント教育の推進

### 財団中期計画 第5ステージプラン（2019～2023年度）における 生涯学習事業

これまで取り組んできた『京カレッジ』に加えて、加盟校による職業人・社会人の継続的な学びにおける大学教育の役割の議論と、京都地域でのリカレント教育の促進に向けた新たな取組を展開

- (1) 加盟校等におけるリカレント教育の実践促進
- (2) 社会人、シニア層を対象とした新たな大学プログラムの開発に資する事業の実施
- (3) リカレント教育など、今後の生涯学習事業の展開を研究する委員会の設置
- (4) 京カレッジ、京都学講座、大学リレー講座の充実

#### <現状・課題>

- ・京カレッジ受講者 50代以下は約2割
- ・受講希望者のニーズに合った学びの機会の提供（時間、場所、方法）
- ・受講希望者への情報発信

# 3 大学リカレント教育の推進

## 大学リカレント教育の推進に向けて

### (1) 大学コンソーシアム京都におけるリカレント教育推進のビジョン

10年後の京都の大学が、「生涯を通して学びたいときに学びたいものを学ぶための大学」として、多くの社会人の知的好奇心に応えることに留まらず、各年齢段階の多様な職業、社会での様々な役割を持つ人に対して、人生の現在と未来において、どのように仕事をしていくかという学びの場としても機能していること。このリカレント教育の展開によって、「大学のまち京都、学生のまち京都」として、「学生と社会人の学び合い」が盛んに行われ、そこで取り組まれる新たな価値の創造を通じて、京都の各大学が持続的に人材育成力を高めていること。

### (2) リカレント教育企画検討委員会の設置（2019年度～）

#### ①委員会の目的

第5ステージプランおよび財団のリカレント教育推進ビジョンにもとづき、加盟校による社会人を対象とした教育プログラムの具体的な推進施策を企画検討する



# 3 大学リカレント教育の推進

## 大学リカレント教育の推進に向けて

### (2) リカレント教育企画検討委員会の設置 (2019年度~)

#### ②委員会の構成員

- イノベーション系・ビジネス系の大学院群
- 中規模大学群
- 女子大学群
- デザイン・芸術系、単科系大学群
- 国公立系大学群
- 企業
- 行政機関

#### ③検討における視点、論点

★財団としてどのような加盟校のプログラム開発を促進するか

ア) 各加盟校の特色を活かして「社会的課題の解決」を主題に取り組みられるプログラム

イ) 学生と社会人が学び合うプログラム

ウ) リカレント教育プログラムを担う講師の養成に係るプログラム

# 3 大学リカレント教育の推進

## 大学リカレント教育の推進に向けて

### (2) リカレント教育企画検討委員会の設置 (2019年度～)

#### ③検討における視点、論点

##### ★財団としての取り組みの姿勢 (考え方)

- ア) 加盟校のリカレント教育を促進することが主目的であり、加盟校のプログラムへの社会人参加を推奨するもの
- イ) 加盟校が実施するプログラムとの重複は避ける
- ウ) 実験的な取り組みであり、3年程度で実施成果を整理し、変更・取りやめを含めた審議を行い、リカレント教育促進を促す新たな取り組みを検討する

### (3) 2019年度大学コンソーシアム京都指定調査課題

「京都におけるリカレント教育推進に果たす大学コンソーシアム京都の役割  
—京都モデルの構築に向けて—」

研究代表者: (当時) 京都女子大学 特命副学長・地域連携研究センター長 竹安 栄子

⇒ 伝統産業育成、中小企業振興、女性人材の活用、高齢化など京都が直面する地域課題解決に資するリカレント教育推進に果たす財団の役割と、大学等におけるリカレント教育課程開設・運営の課題を明らかにするための基礎調査を実施

# 3 大学リカレント教育の推進

## 大学リカレント教育の取り組み

### ①大学リカレント教育リレー講座（2021年度）

- 「働く人・世代」を対象として、加盟校が実施しているリカレント教育プログラムの内容や成果を紹介し、大学での学びの契機を拡げていくことを目的として実施

### 大学リカレントリレー講座 実施状況

日程	開催方法	大学	テーマ	受講者数
6月5日(土) 10:00-11:30	オンライン	京都女子大学	日本の社会保障制度について	33
6月12日(土) 10:00-11:30	オンライン	立命館大学	「フォスタリング・ソーシャルワーク専門職講座」について	17
6月19日(土) 10:00-11:30	オンライン	京都精華大学	デジタルメディア制作の領域での働き方、働くための技術とは。	10
7月10日(土) 10:00-11:30	オンライン	京都工芸繊維大学	歴史的建造物を現代に生かす技術とデザイン	37
7月17日(土) 10:00-11:30	対面 オンライン	京都橘大学	消費者行動の心理学	45
7月24日(土) 10:00-11:30	オンライン	同志社大学	社会人の学び直しに対応した同志社大学のプロフェッショナルプログラム	6

2021年度 大学リカレント教育リレー講座

受講料無料

仕事に活かす もう一度学び、

大学リカレント教育リレー講座は、「働く人・世代」を対象として、大学コンソーシアム京都加盟校が実施しているリカレント教育プログラムの内容や成果を紹介し、大学での学びの契機を拡げていくことを目的として実施するものです。「大学の学び直し」における学びの魅力を体感しながら、これからの学び方・働き方について考えてみませんか。

リカレント（Recruitment）とは、再雇用、再就職を目指す企業であり、日本で唯一の社会人の学び直しを専門に行う、人生100年時代の教育、再就職の機会を最大化できるコアカリキュラムを特徴とした教育機関です。卒業や仕事で学んだことが生かされていくことで、キャリアアップ、スキルアップ、新たな学びの機会を得ることができ、学びの楽しさや成長を実感することができます。日本ではユニバーシティ、未来を学ぶの場であり、リカレント教育は、これからの社会で求められる人材を育てるための重要な学びの機会です。学び直しは、社会人の学び直しであり、学び直しは、社会人の学び直しとつながります。

受講資格 特に受講資格は設けておりませんが、各講座のテーマに関心がある方で下記にどなたでも参加できます。

申込について 各講座の詳細、申し込み方法などについては各大学のホームページで確認してください。各講座は専攻講座です。個別に申し込みが必要です。

社会福祉 ソーシャルワーク デジタルメディア 心理学 建築デザイン プロフェッショナルプログラム

オンラインで受講できます  
各講座は入門講座であり、大学における専攻科目の修得とはなりません。

<b>6/5(土) 京都女子大学</b> <b>日本の社会保障制度について</b> ↳いざというときを乗り越えるための ▶ 対象対象：社会人 専攻を履修中/学生 ▶ 受講方法：オンライン ▶ 定員：150名(NWB発行・光臨)	<b>6/12(土) 立命館大学</b> <b>「フォスタリング・ソーシャルワーク専門職講座」について</b> ↳福祉に関わる人必見の講座 ▶ 対象対象：社会人 専攻を履修中/学生 ▶ 受講方法：オンライン ▶ 定員：50名(NWB発行・光臨)
<b>6/19(土) 京都精華大学</b> <b>デジタルメディア制作の領域での働き方、働くための技術とは。</b> ↳デジタルメディア制作の現場への就職・転職に役立つ ▶ 対象対象：社会人 専攻を履修中/学生 ▶ 受講方法：オンライン ▶ 定員：30名(NWB発行・光臨)	<b>7/10(土) 京都工芸繊維大学</b> <b>歴史的建造物を現代に生かす技術とデザイン</b> ↳歴史的建造物の保存・活用・活用に関する ▶ 対象対象：社会人 専攻を履修中/学生 ▶ 受講方法：オンライン ▶ 定員：40名(NWB発行・光臨)
<b>7/17(土) 京都橘大学</b> <b>消費者行動の心理学</b> ↳消費者行動を学ぶための「自己観察」を目指して ▶ 対象対象：社会人 専攻を履修中/学生 ▶ 受講方法：対面/オンライン ▶ 定員：45名(NWB発行・光臨) ▶ オンライン：200名(NWB発行・光臨)	<b>7/24(土) 同志社大学</b> <b>社会人の学び直しに対応した同志社大学のプロフェッショナルプログラム</b> ↳同志社大学のコース・単位取得の仕組みを詳しく説明 ▶ 対象対象：大学教員や科担任等学生を専攻している学生や社会人 ▶ 受講方法：オンライン ▶ 定員：40名(NWB発行・光臨)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、開会の延期や中止、内容の変更が生じる場合がございます。最新情報は、大学コンソーシアム京都ホームページの「重要なお知らせ」等にお願いいたしますので、ご確認ください。

大学コンソーシアム京都  
The Consortium of Universities in Kyoto

# 3 大学リカレント教育の推進

## 大学リカレント教育の取り組み

### ②リカレント教育プログラムの開始（2022年度～）

#### 2022年度

#### 「働く人のためのデータサイエンス講座」

（定員25名：対面・キャンパスプラザ京都）

##### <講義概要>

ビッグデータを使ったデータ解析が様々な分野で注目を集めている。しかしながら、データがどのように分析され、活用されているのかについてそのプロセスを理解し、自ら実践する機会は働く環境の中でも少ない。

本講座では、ケーススタディを通して簡単な統計手法を身につけた後、データがどのように収集、及び分析されるのか実例を使って解説するとともに、実際のデータを使って、データ解析を行い、その作業を通して、データ解析への理解を深めることを到達目標とする。

#### 現代の教養講座「宇宙移住の現在・未来について」

（定員200名：オンライン）

##### <講義概要>

人類が地球環境に及ぼしてきた影響で、いつか地球は住めない星になるかもしれない。地球環境の修復を図ると同時に、地球以外の星で人類が生存可能かについても、現在世界中で様々な試みが始まっています。21世紀後半に人類が、月・火星へ移住する未来を想定した時、私達は今、何をどのように考えていけばよいのか。地球と宇宙に関する最先端の知見を学び、その中から私達にできることは何かを、参加者全員で考える有人宇宙学講座として開講する。



# 3 大学リカレント教育の推進

## 大学リカレント教育の取り組み

### ②リカレント教育プログラムの開始（2022年度～）

#### 2022年度-2023年度 特別講演

#### シゴトとマナビ 明日の私の歩き方 -正解がない時代だからこそ面白い-

(定員500名：オンライン、無料)

##### <講義概要>

「VUCA時代」といわれる将来を予測することが困難で環境変化が激しい時代を生きていく上で、参加者の皆様と共に「働くこと」と「学ぶこと」を問い直す機会とする。各登壇者の講演・対談から、新たに挑戦することの面白さ、働きながら主体的に学ぶことの重要性を感じ取っていただき、明日からの人生を変えるきっかけを一緒に作る。



#### 土井宇宙飛行士に聞く 有人宇宙活動

(定員200名：対面・キャンパスプラザ京都、無料)

##### <講義概要>

日本そして世界の有人宇宙活動は何をめざして、私たちはどこに行こうとしているのか。日本人初の宇宙船外活動を実施された土井氏のこれまでの「学び」の道のりを振り返りながら、人類にとって有人宇宙活動は何を意味しているのかを語っていただく。



# 3 大学リカレント教育の推進

## 大学リカレント教育の取り組み

### ②リカレント教育プログラムの開始（2022年度～）

#### 2023年度

##### 「働く人のためのデータサイエンス講座－現場で使える分析法・処理法－」

（定員50名：オンライン）

Excelとフリーソフト「R Commander」を使用し、データの観察と分析方法を学ぶことで、感覚で感じていることの数値化を目指す



##### 現代の教養講座「宇宙移住に向けた最先端研究と企業技術」（前半・後半）

（定員各100名：オンライン）

2030年代以降を見据えた有人宇宙科学技術の現在地点を、最先端の研究の成果や企業アイデアなどとともに、さらにリニューアルしたコンテンツで開講。



##### 「現代の対人援助に必要なこと－新しい領域と課題の生成をめぐって－」

（定員100名：オンライン）

大学院レベルの高度専門職向けの講座として開講。医療、看護、教育、心理、福祉、司法など、多職種が連携・協働した取り組みがますます求められており、『対人援助』として統合し、人間の可能性を探るフロントラインの知に学ぶ。



# 3 大学リカレント教育の推進

## 大学リカレント教育の取り組み

### ②リカレント教育プログラムの開始（2022年度～）

#### 受講者の状況等について（2023年度）

- 受講者の年齢層について、京カレッジ全体では60-70代が受講者の中心となっているが、リカレント教育プログラムは40-50代が中心（50代以下が全体の約7割）
- 受講者は会社員、団体職員のほか、大学教員、学生など多様な人々
- オンラインでの実施により、受講者は関西以外の地域からも参加
- アーカイブ配信が好評

# 4 今後の取り組みと方向性

## 第6ステージプラン（2024～2028年度）案（検討中）

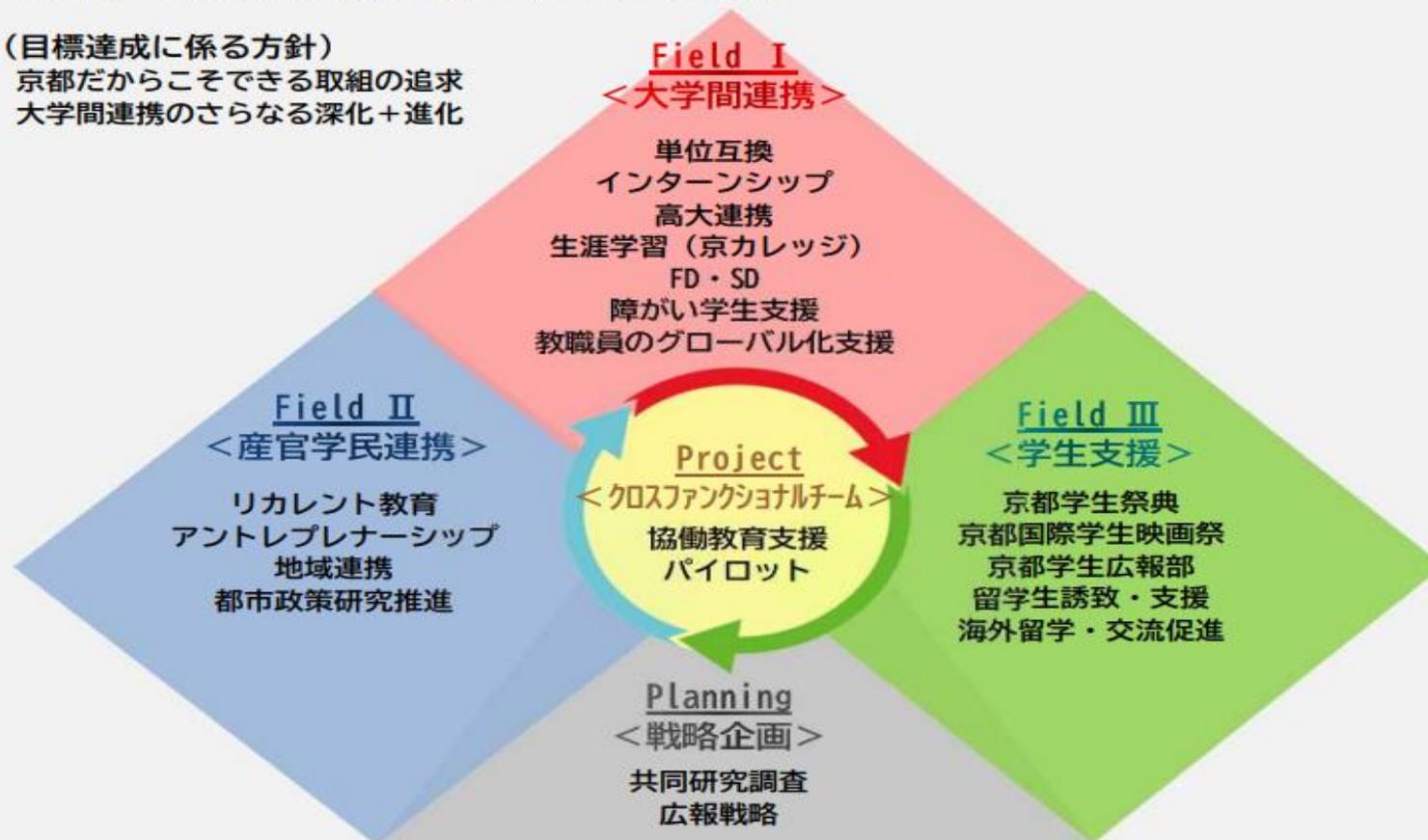
【第6ステージの概念図】

（目 標）

地域振興・大学間連携の核となるプラットフォームの実現

（目標達成に係る方針）

京都だからこそできる取組の追求  
大学間連携のさらなる深化+進化



## 4 今後の取り組みと方向性

### 第6ステージプラン（2024～2028年度）案（検討中）

#### ●生涯学習（京カレッジ）事業

世代や職業を問わず、人々が自発的意思に基づき「自己の充実」「生活の向上」「職業能力の向上」のため、自ら学ぶ内容を選び取ることができる「京カレッジ」の構築を目指す

（重点施策）

京カレッジ科目・講座の充実  
新たな大学連携講座の検討 など

#### ●リカレント教育事業

産官学民との連携を深め、第5ステージで開設した「リカレント教育プログラム」をベースとした社会人の学びに寄与する新たな教育プログラムの開発や学修成果の可視化に着手する

（重点施策）

リカレント教育プログラムの充実  
大学リカレント教育の取組の支援  
講座修了者へのデジタル証明書の発行 など

## 4 今後の取り組みと方向性

### ポータルサイトを通じた情報発信

- 『KYOTOリカレントプラス』の開始（2023年10月～）

大学コンソーシアム京都加盟校で実施されているリカレント教育および生涯学習に係る公開講座の情報を広く発信するため、ポータルサイトを構築

#### <利用者のメリット>

各加盟校のサイトを一つずつ確認する必要がなく、受講したい講座を一括検索することができる

#### <講座情報を登録する加盟校のメリット>

当サイトは、『マナパス』や他の大学公開講座検索サイトと連動しており、登録することで複数の情報発信サイトに講座情報を掲載

⇒ より多くの人々に知ってもらえる

# 4 今後の取り組みと方向性

## 『KYOTOリカレントプラス』（ホームページ案）

「大学のまち京都」が学びのキャンパス  
KYOTOリカレントプラス（リカレント講座・生涯学習講座検索）

講座数 200講座 募集数 150講座 大学数 30大学・短期大学 募集年 15大学・短期大学（11/27現在）

講座を探す フリーワード検索

トレンドワード：  
IT・DX 資格 観光・地域 観光 土井・後継者 伊ノベーション

京都大学のリカレント講座  
働く人のための学び直し、  
単元単位・総合知を学ぶ、リスケリング

京都からつながり  
ひろがる学び産  
歴史、伝統文化  
産業、地域、観光

京都大学の  
生涯学習公開講座  
大学が提供する講座  
多様な学習ニーズに応える学び

京都大学の科目等  
履修生制度・聴講生制度  
単位を修得する、聴講する

講座検索 詳細条件から探す

働く世代に  
向けたり  
カレント  
教育

京（みやこ）  
を学ぶ

文化・芸術  
を学ぶ

こぼれ・古語  
を学ぶ

教育・人生観  
を学ぶ

自然・環境  
を学ぶ

現代社会  
を学ぶ

国際関係  
を学ぶ

歴史  
を学ぶ

生活・健康・  
スポーツ  
を学ぶ

アーカイブ  
動画で学ぶ

オンライン  
で学ぶ

曜日  月曜日  火曜日  水曜日  木曜日  金曜日  土曜日  日曜日

時間帯  すべて表示  午前（～12:00）  午後（13:00～18:00）  夜間（18:00～）

課程  大学講義（科目等履修生）  大学講義（聴講生）  公開講座（一般受講）  履修証明プログラム  
 その他

履修形態  対面  オンラインライブ  オンデマンド配信  ハイブリッド（対面・オンライン）  その他

金額  無料  ～1万円  ～5万円  ～10万円  ～20万円  20万円～

京都の大学の生涯学習公開講座  
京都の大学等の生涯学習公開講座等の取り組みを検索する

トップ > 京都の大学の生涯学習公開講座

京都の大学等の生涯学習・公開講座に関するウェブサイトをもとめています。  
各大学の取り組みをご覧ください。

※以下に掲載されていない大学等でも取り組みを実施されている場合があります。掲載されていない大学については、各大学のホームページをご確認ください。

京都大学  
教育推進・学生支援部教務企画課教務係

京都工芸繊維大学  
学務課生涯教育係

京都教育大学  
教務課・企画課

京都の大学の科目等履修生制度・聴講生制度  
京都の大学等の科目等履修生制度の取り組みを検索する

トップ > 京都の大学の科目等履修生制度・聴講生制度

京都の大学等の科目等履修生制度・聴講生制度に関するウェブサイトを取りもっています。  
各大学の取り組みをご覧ください。

科目等履修生制度とは  
大学等がその教育の場を広く一般に公開することで、社会人等に対して学習機会を提供し、生涯学習を推進する観点から設けられた制度で、大学の正規科目を受講し単位を修得することができます。

聴講生制度とは  
聴講生は単位を修得することは出来ませんが、大学の正規科目を受講することができます。

※以下に掲載されていない大学等でも取り組みを実施されている場合があります。掲載されていない大学については、各大学のホームページをご確認ください。

京都大学  
教育推進・学生支援部教務企画課  
教務係

京都工芸繊維大学  
学務課大学院教務係

京都教育大学  
教務課

福知山公立大学

京都市立芸術大学

京都府立大学

# 4 今後の取り組みと方向性

## 『KYOTOリカレントプラス』（ホームページ案）



### 大学検索 掲載校から探す

- 1 京都大学 吉田キャンパス
- 2 京都大学 桂キャンパス
- 3 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス
- 4 京都工芸繊維大学 嵯峨キャンパス
- 5 京都教育大学
- 6 京都市立芸術大学
- 7 京都府立医科大学 河原町キャンパス
- 8 京都府立医科大学 広小路キャンパス
- 9 京都府立大学 下鴨キャンパス
- 10 池坊短期大学 池坊短期大学
- 11 大谷大学 本部キャンパス
- 12 京都薬科大学 本校地
- 13 京都薬科大学 南校地
- 14 京都外国語大学・京都外国語短期大学
- 15 嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 本部キャンパス
- 16 嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 霧原キャンパス
- 17 京都華頂大学・華頂短期大学
- 18 京都看護大学
- 19 同志社大学 今出川キャンパス
- 20 同志社大学 新町キャンパス
- 21 同志社大学 烏丸キャンパス
- 22 同志社大学 室町キャンパス
- 23 京都経済短期大学
- 24 同志社女子大学 今出川キャンパス
- 25 京都芸術大学 京都・瓜生山キャンパス
- 26 花園大学 メインキャンパス
- 27 花園大学 西小路学舎
- 28 京都光華女子大学
- 29 佛教大学 紫野キャンパス
- 30 佛教大学 二条キャンパス
- 31 佛教大学 岩倉キャンパス
- 32 佛教大学 広沢キャンパス
- 33 平安女学院大学 京都キャンパス
- 34 京都産業大学
- 35 京都産業大学 壬生校地「むすびわざ館」
- 36 京都女子大学
- 37 立命館大学 衣笠キャンパス
- 38 立命館大学 朱雀キャンパス
- 39 京都精華大学
- 40 龍谷大学 深草キャンパス
- 41 龍谷大学 大宮キャンパス
- 42 京都西山短期大学
- 43 京都先端科学大学 京都太秦キャンパス
- 44 京都情報大学院大学京都本校 百万遍キャンパス
- 45 京都情報大学院大学京都本校 京都駅前サテライト
- 46 京都ノートルダム女子大学
- 47 放送大学 京都学習センター
- 48 京都美術工芸大学
- 49 大学コンソーシアム京都

MENU



# 4 今後の取り組みと方向性

## (3) 文部科学省 令和4年度「地域ニーズに応える産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業」(京都府)との連携

令和4年度「地域ニーズに応える産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業」事業計画書 (P1)

様式2 (別紙1)

### 事業の概念図

### リカレント教育先進地「京都」構築事業

京都府の施策	府の狙い	提案事業																												
<p><b>京都府生涯現役クリエイティブセンター</b> R3.8設置</p> <p><b>1. 相談・キャリア支援機能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自己理解の支援、キャリアの棚卸</li> <li>●研修プログラムのコーディネート など</li> </ul> <p><b>2. リカレント教育機能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●産業を牽引する人材の育成</li> <li>●地域や社会に貢献する人材の育成</li> </ul> <p><b>3. 人材マッチング機能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●人材交流</li> <li>●新たな活躍の場へのマッチング支援</li> </ul> <p>【利用件数 (R5.2末現在)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>キャリア相談</th> <th>リカレント研修</th> <th>情報収集等</th> <th>マッチング</th> <th>オンラインセミナー等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>2,938</td> <td>145</td> <td>1,198</td> <td>1,595</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>9,365</td> <td>349</td> <td>2,885</td> <td>3,045</td> <td>183</td> <td>2,903</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12,303</td> <td>494</td> <td>4,083</td> <td>4,640</td> <td>183</td> <td>2,903</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>京都府リカレント教育推進機構</b></p> <p>経済・労働団体    大学等教育機関    金融機関    行政機関</p> <p>設置日 令和4年7月28日            参画機関 54団体            設置目的 京都全体でリカレント教育を推進するための体制構築及び各種連携事業の推進</p>	年度	件数	キャリア相談	リカレント研修	情報収集等	マッチング	オンラインセミナー等	R3	2,938	145	1,198	1,595			R4	9,365	349	2,885	3,045	183	2,903	合計	12,303	494	4,083	4,640	183	2,903	<p><b>①大学のリカレント教育能力の向上</b></p> <p>府内大学のリカレント・社会人教育に関する取組を促進し、研修能力の向上を図ることで、大学の「知」を広く活用できる基盤を整備する。</p> <p><b>②関係機関との連携強化によるニーズ・シーズマッチング推進</b></p> <p>大学・経済界等の交流を促進し、関係機関の強みを活かした多様な研修プログラムを構築するとともに、自走する仕組みを構築する。</p> <p><b>③リカレント先進地「京都」を目指した気運醸成</b></p> <p>リカレント教育の重要性を大学・企業・府民に広く啓発し、大学の街京都をリカレント先進地として確立する。</p>	<p><b>事業の枠組み</b></p> <p><b>リカレント教育プラットフォームの構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆産、官、学、金の構成により地域ニーズに応える人材輩出が起きるプラットフォームの構築</li> </ul> <p><b>産業界の求める人材ニーズの調査・把握</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆求められている教育内容や人材像等、地域に分散する人材ニーズを調査・把握する。</li> </ul> <p><b>コンテンツの集約・共有</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆大学等が保有するリカレント教育に関する教育コンテンツをとりまとめて、構築するプラットフォーム内で共有する</li> </ul> <p><b>人材ニーズとコンテンツのマッチング</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆人材ニーズの調査結果を踏まえ、個別のニーズに応じた教育内容を提供できるようなマッチングの実施</li> <li>◆マッチングを推進するコーディネート者の配置</li> </ul> <p><b>広報・周知</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆個人・企業がリカレント教育を活用する誘因となる広報・周知</li> </ul> <p><b>府提案内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆大学ITや産業支援機関、福祉団体を追加し、リカレント教育推進機構を拡充【54⇒61団体】 【追加団体】 大学コンソーシアム京都、京都府社会福祉協議会、京都産業21 等</li> <li>◆企業・大学等によるプラットフォーム検討会の設置</li> <li>◆産業界はもちろん、労働者や福祉団体が求める人材ニーズを調査（経営者協会、中小企業団体中央会、連合京都、府社会福祉協議会）</li> <li>◆人材ニーズ調査を踏まえ各大学等が有するシーズ調査を実施（大学コンソーシアム京都、京都府専修学校各種学校協会等）</li> <li>◆教育コンテンツをポータルサイトに集約し、発信</li> <li>◆コンテンツと企業のマッチングだけでなく、大学の研修プログラム開発の助言まで実施するリカレント研修プランナー（各界で活躍する専門家を多数任命）及び企業に精通した産学連携アドバイザーを設置</li> <li>◆研修受講者等のデータを蓄積し、プログラムを評価するシステムの構築</li> <li>◆「京都リカレントフォーラム2023」を開催し、先進的な取組を他府県UIJ希望者も視野に入れて情報発信</li> <li>◆市町村と連携した広報展開（チラシ・ポスター掲出）</li> </ul>
年度	件数	キャリア相談	リカレント研修	情報収集等	マッチング	オンラインセミナー等																								
R3	2,938	145	1,198	1,595																										
R4	9,365	349	2,885	3,045	183	2,903																								
合計	12,303	494	4,083	4,640	183	2,903																								

機関名：京都府、事業テーマ名：リカレント教育先進地「京都」構築事業

## <大学コンソーシアム京都 目的>

- ・京都地域を中心に、大学間連携と相互協力を図り、加盟する大学・短期大学の教育・学術研究水準の向上を目指すとともに、学生の成長を促進するための学生支援、大学の国際化を推進するための国際連携・国際交流等の充実に努める。
- ・地域社会、行政及び産業界との連携を促進し、地域の発展と活性化に努め、京都地域を中心とした高等教育の発展と国際社会をリードする人材の育成を目指す。

ご清聴ありがとうございました。



公益  
財団  
法人 大学コンソーシアム京都  
The Consortium of Universities in Kyoto



〒600-8216

京都市下京区西洞院通塩小路下ル

キャンパスプラザ京都（京都市大学のまち交流センター）内

TEL：075-353-9100（代表） FAX：075-353-9101

URL：<https://www.consortium.or.jp>

 facebook ページ：<https://www.facebook.com/consortium.kyoto>

 高等教育イベントナビ 教まちや：<https://henews.consortium.or.jp>

